

（６）地域や社会との関わり方について

問 20 あなたが住んでいる地域では、地域活動の役割分担はどのようになっていますか。
（それぞれに１つ○）

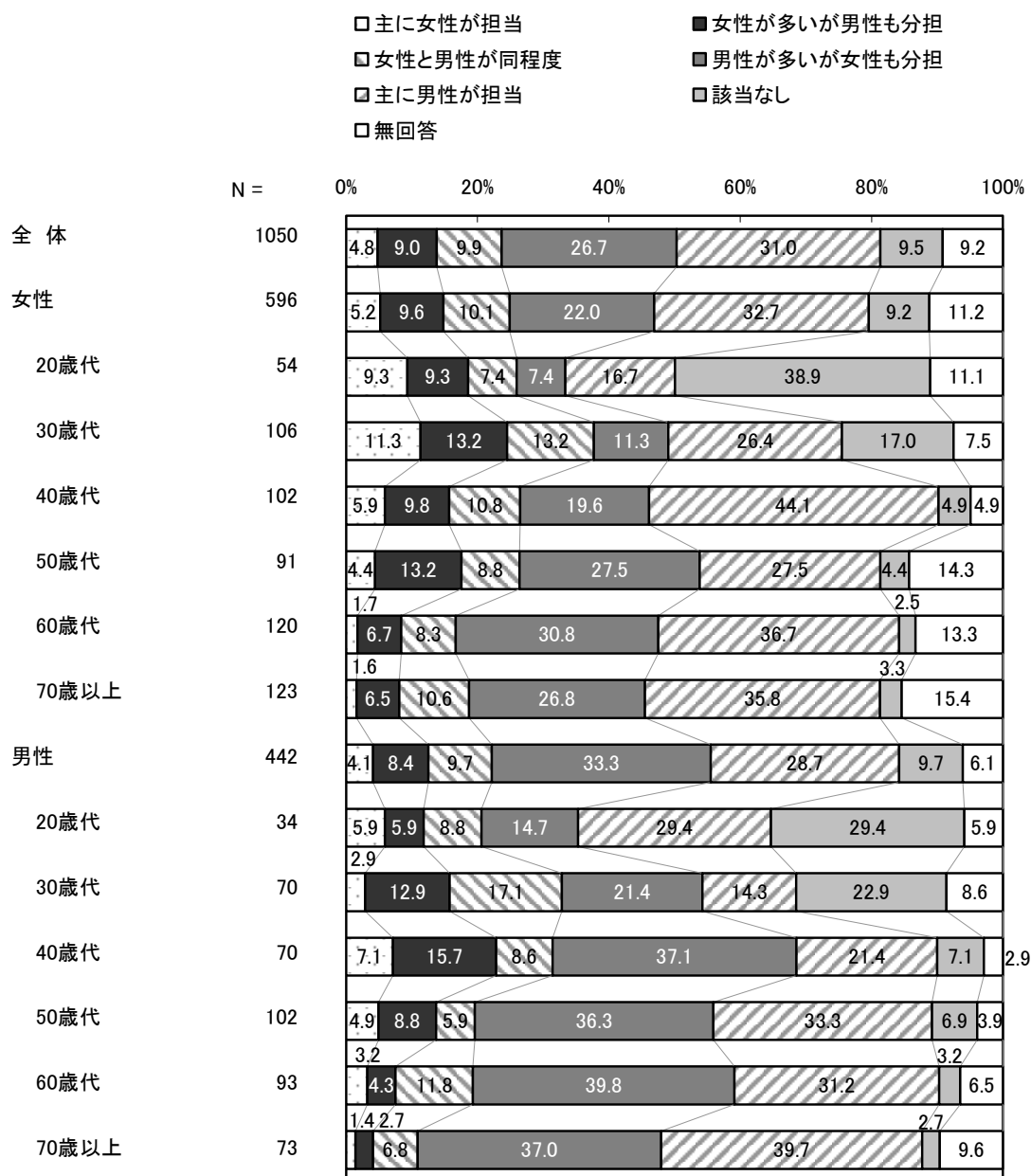
①地域役員や催しものの企画、決定

「主に男性が担当」の割合が最も高く 31.0%となっており、次いで「男性が多いが女性も分担」の割合が 26.7%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「主に男性が担当」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「男性が多いが女性も分担」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他の年代に比べ女性の 40 歳代で「主に男性が担当」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ男性の 40 歳代以上で「男性が多いが女性も分担」の割合が高くなっています。

図表 77 男女別地域役員や催しものの企画、決定における分担の状況



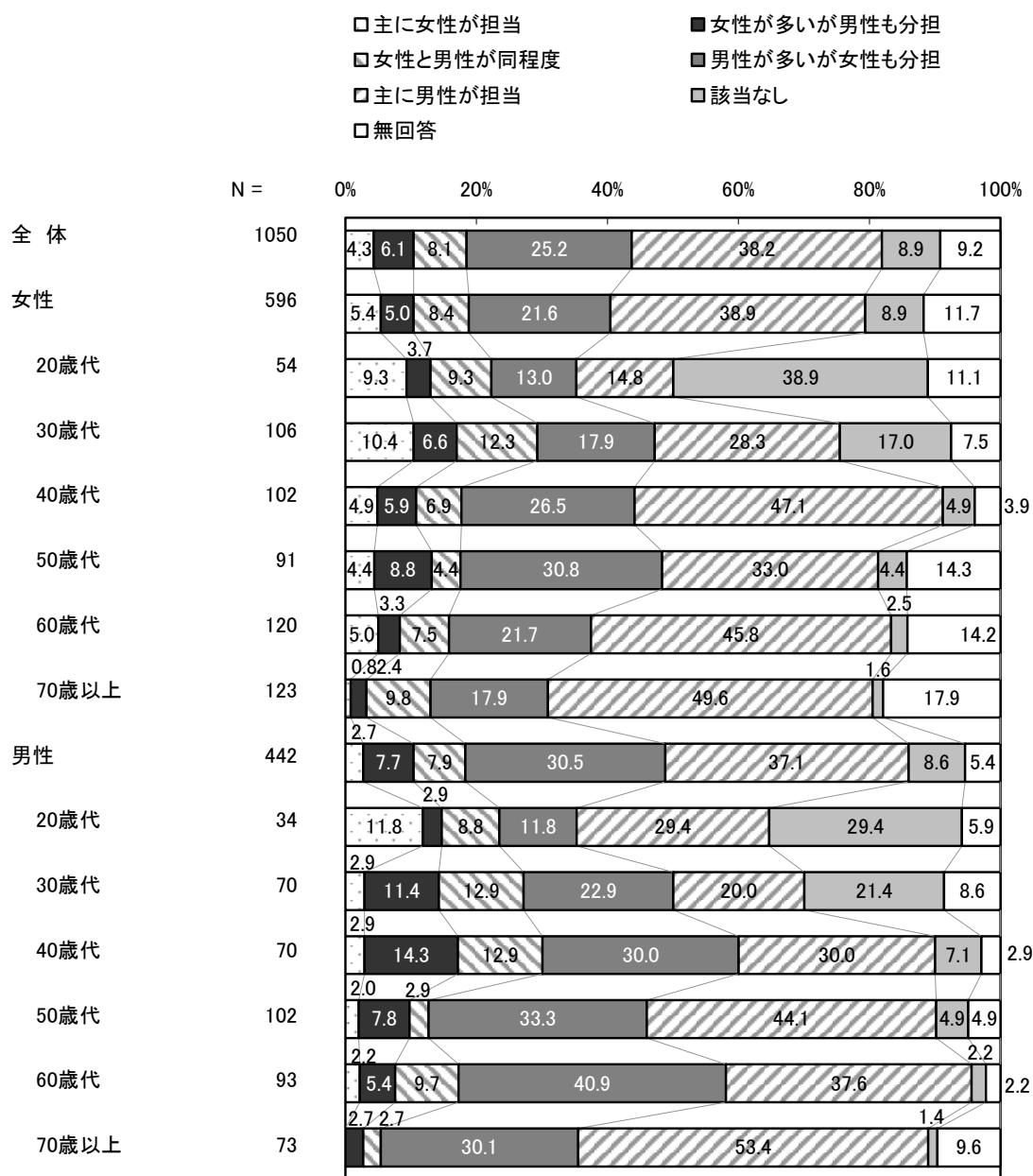
②集会などの運営、取り仕切り

「主に男性が担当」の割合が最も高く 38.2%となっており、次いで「男性が多いが女性も分担」の割合が 25.2%となっています。

男女別でみると、女性に比べ男性で「男性が多いが女性も分担」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他の年代に比べ女性の 40 歳代、60 歳代以上で「主に男性が担当」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 50 歳代、70 歳以上で「主に男性が担当」の割合が高くなっています。

図表 78 男女別集会などの運営、取り仕切りにおける分担の状況



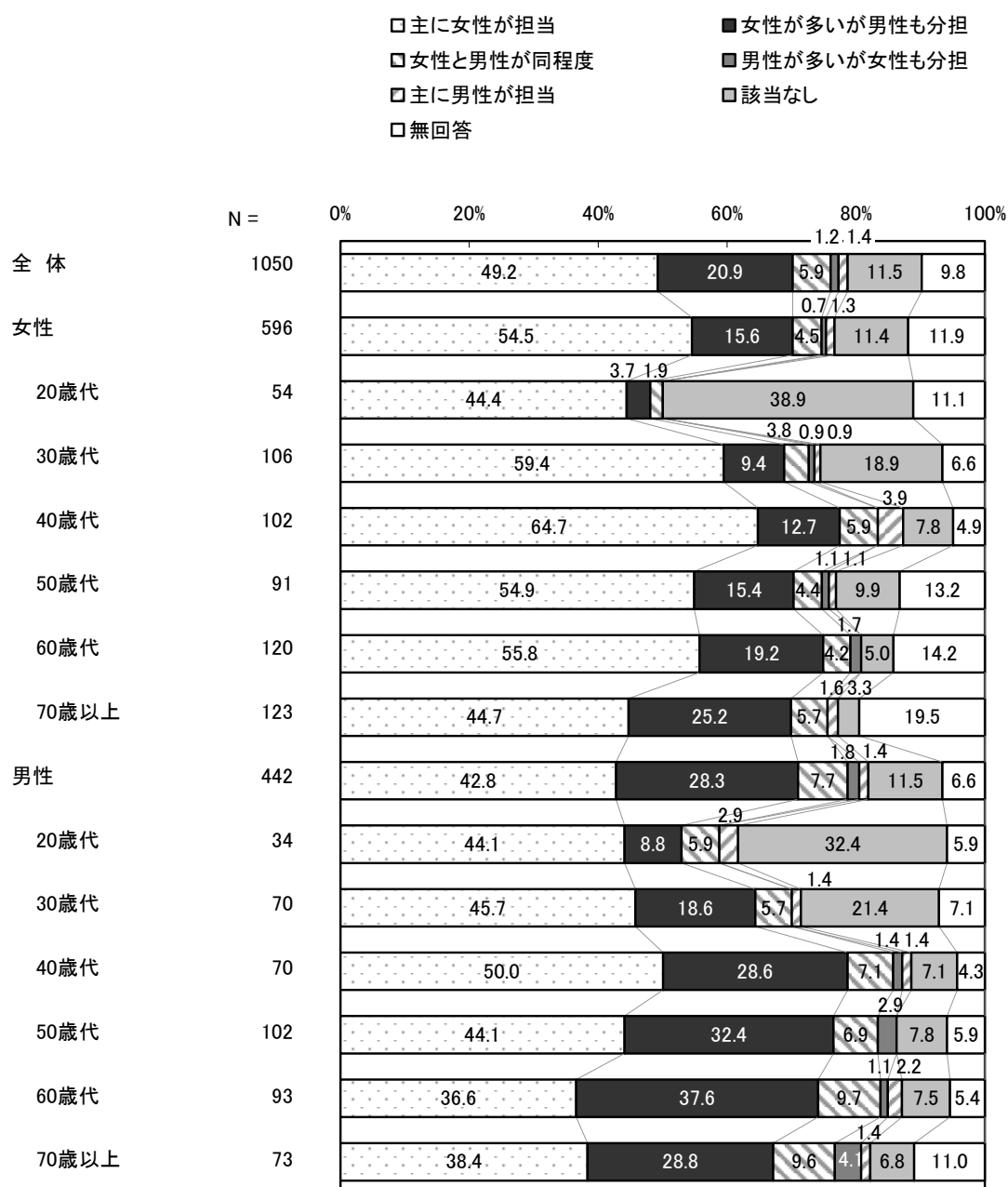
③集会などでのお茶くみ、調理

「主に女性が担当」の割合が最も高く 49.2%となっており、次いで「女性が多いが男性も分担」の割合が 20.9%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「主に女性が担当」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「女性が多いが男性も分担」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他の年代に比べ女性の 30 歳代から 60 歳代で「主に女性が担当」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ男性の 40 歳代以上で「女性が多いが男性も分担」の割合が高くなっています。

図表 79 男女別集会などでのお茶くみ、調理における分担の状況



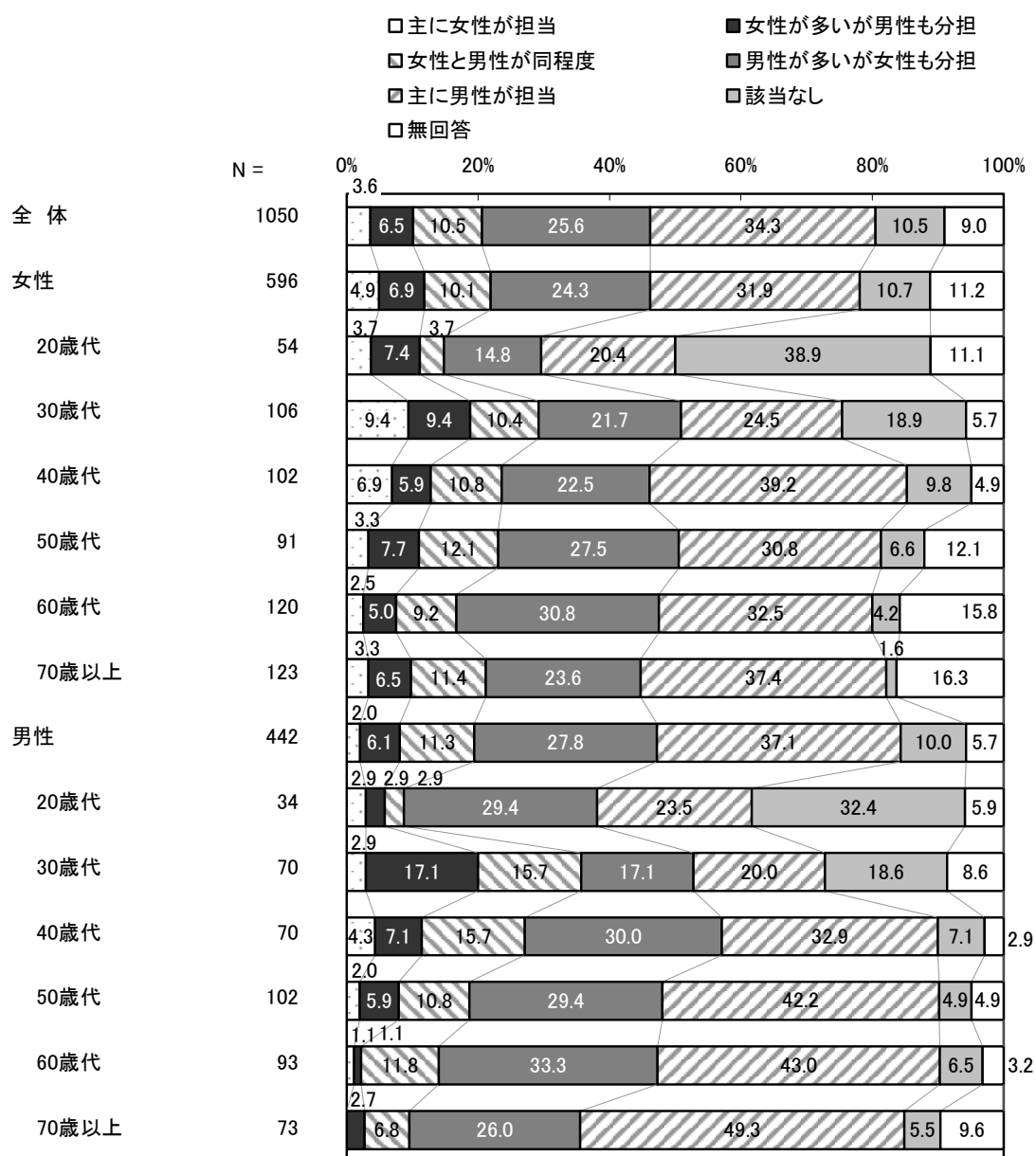
④祭りや葬儀の運営、取り仕切り

「主に男性が担当」の割合が最も高く 34.3%となっており、次いで「男性が多いが女性も分担」の割合が 25.6%となっています。

男女別でみると、女性に比べ男性で「主に男性が担当」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 40 歳代以上で「主に男性が担当」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 40 歳代以上で「主に男性が担当」の割合が高くなっています。

図表 80 男女別祭りや葬儀の運営、取り仕切りにおける分担の状況



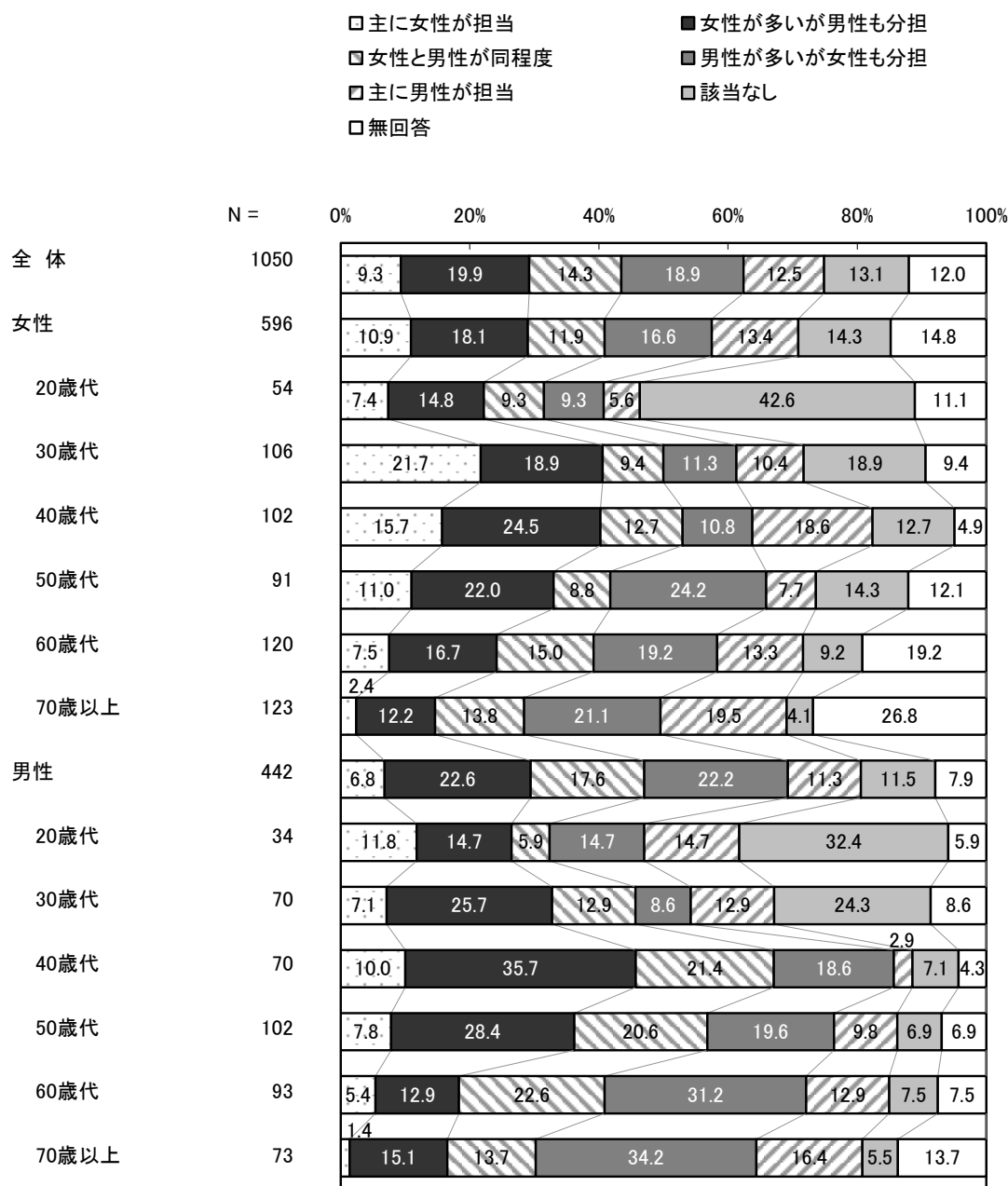
⑤PTA や保護者会の運営、取り仕切り

「女性が多いが男性も分担」の割合が最も高く 19.9%となっており、次いで「男性が多いが女性も分担」の割合が 18.9%となっています。

男女別でみると、女性に比べ男性で「女性と男性が同程度」、「男性が多いが女性も分担」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、女性の 30 歳代以上で年齢が高くなるにつれ「主に女性が担当」の割合が低くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 40 歳代以上で「男性が多いが女性も分担」の割合が高くなっています。

図表 81 男女別 PTA や保護者会の運営、取り仕切りにおける分担の状況



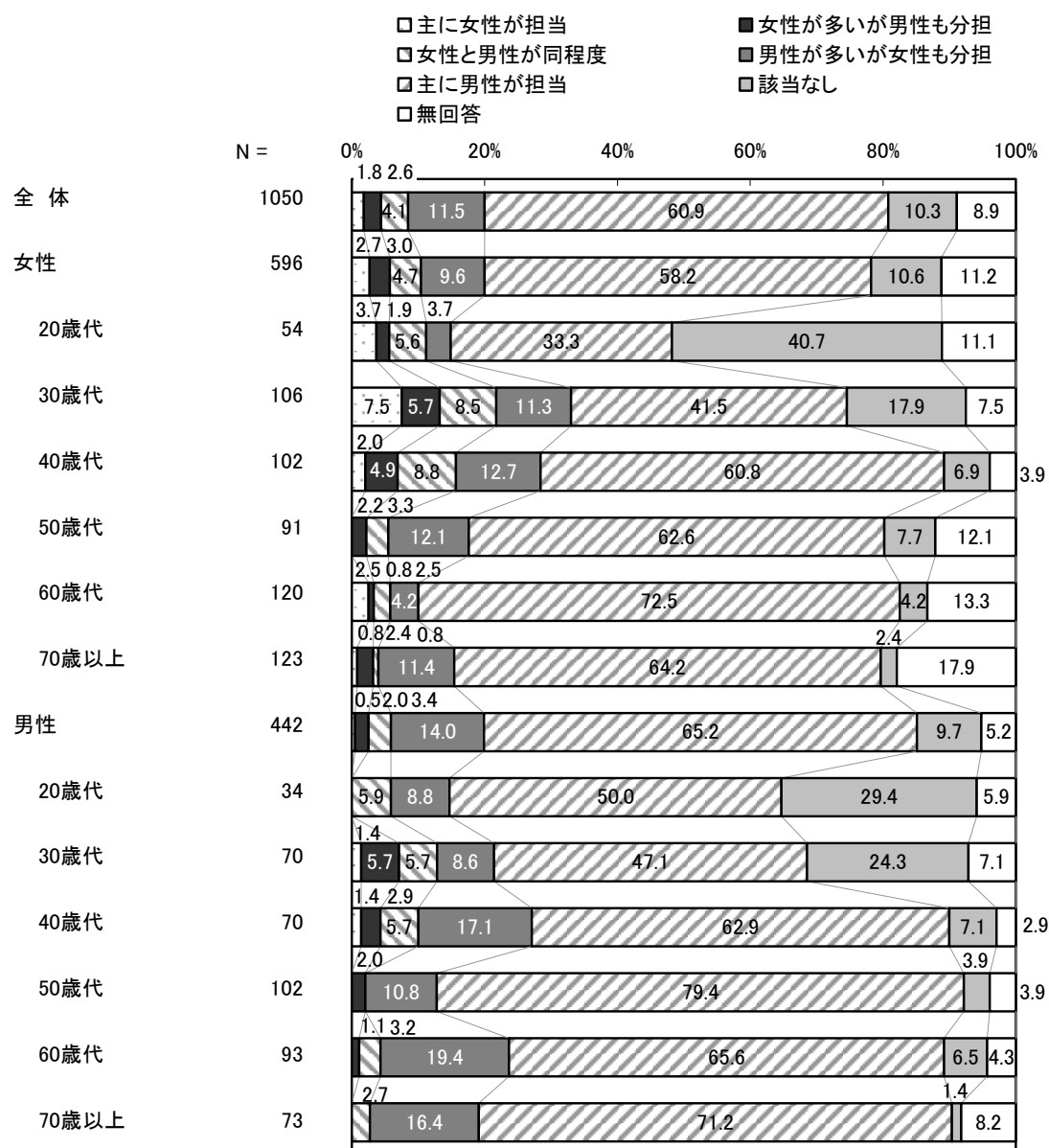
⑥会長などの役職

「主に男性が担当」の割合が最も高く 60.9%となっています。

男女別でみると、女性に比べ男性で「主に男性が担当」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 40 歳代以上で「主に男性が担当」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 40 歳代以上で「主に男性が担当」の割合が高くなっています。

図表 82 男女別会長などの役職における分担の状況



問 21 あなたは、どのような地域活動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

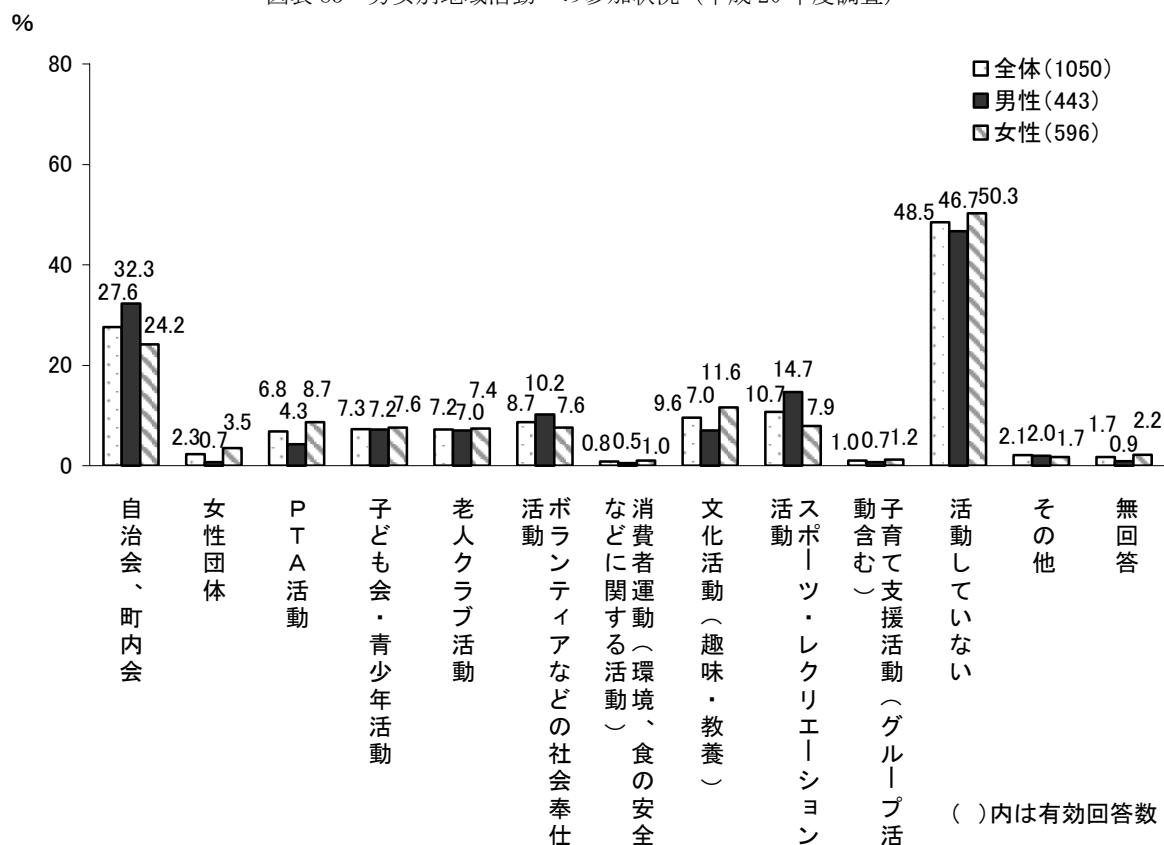
「活動していない」の割合が最も高く 48.5%となっており、次いで「自治会、町内会」の割合が 27.6%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「活動していない」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「自治会、町内会」、「スポーツ・レクリエーション活動」の割合が高くなっています。

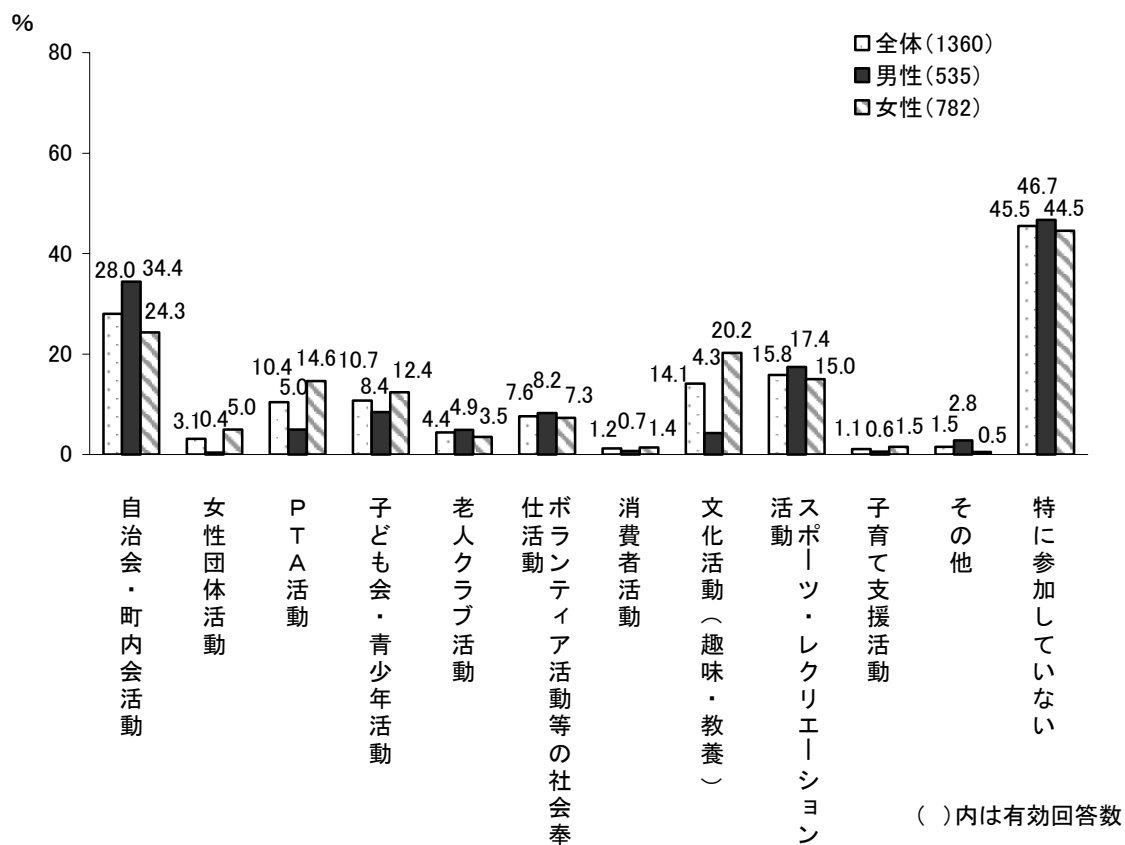
年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 20 歳代で「活動していない」の割合が高く、30 歳代以上で「自治会、町内会」の割合が高く、30 歳代、40 歳代で「PTA活動」、「子ども会・青少年活動」の割合が高く、60 歳代以上で「文化活動（趣味・教養）」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 50 歳代以上で「自治会、町内会」の割合が高く、60 歳代で「ボランティアなどの社会奉仕活動」、「文化活動（趣味・教養）」の割合が高くなっています。

平成 13 年度調査結果と比較すると、全体では、「スポーツ・レクリエーション活動」の割合が低くなっています。男女別では、女性で「PTA活動」、「文化活動（趣味・教養）」、「スポーツ・レクリエーション活動」の割合が低くなっています。

図表 83 男女別地域活動への参加状況（平成 20 年度調査）



図表 84 男女別地域活動への参加状況（平成 13 年度調査）



問 21 で「11. 活動していない」と答えた方

問 22 あなたが地域活動に参加していない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

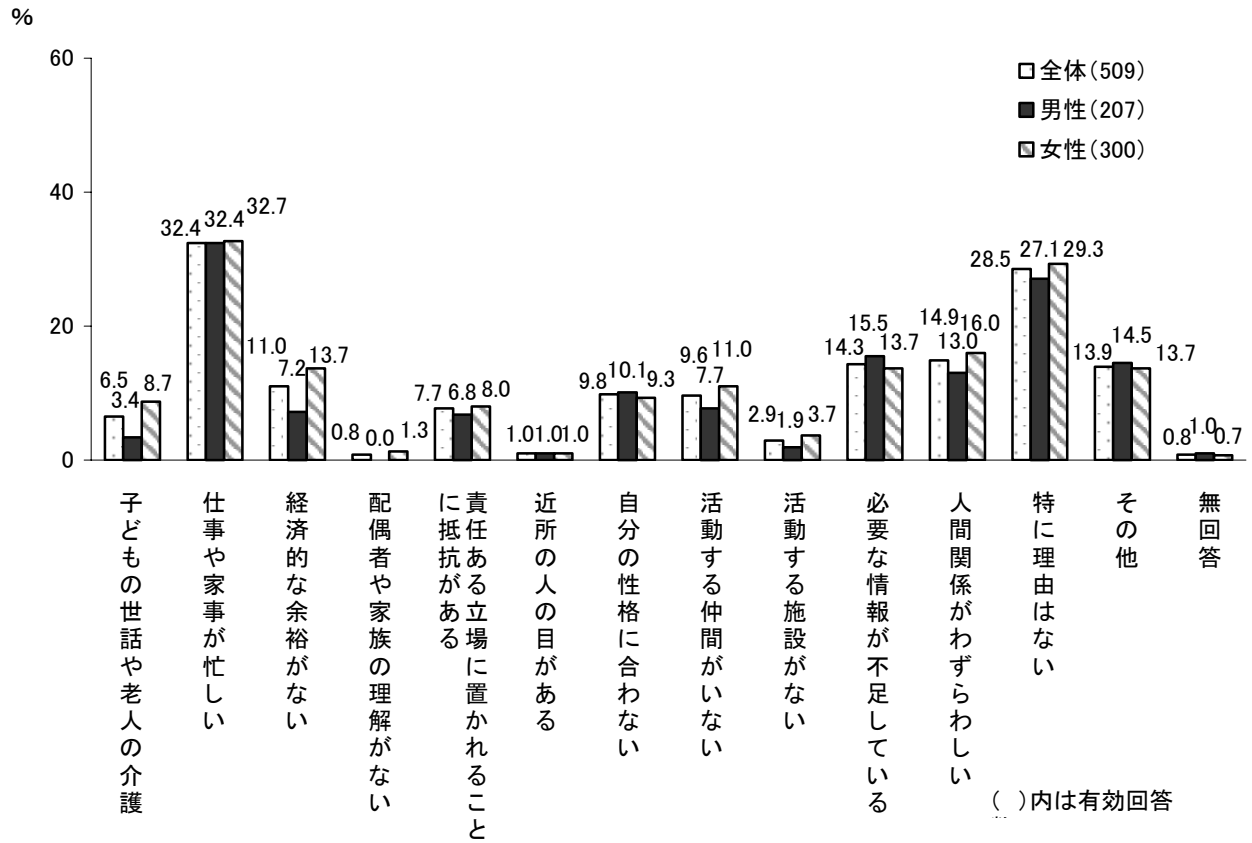
「仕事や家事が忙しい」の割合が最も高く 32.4%となっており、次いで「特に理由はない」の割合が 28.5%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「経済的な余裕がない」の割合が高くなっています。

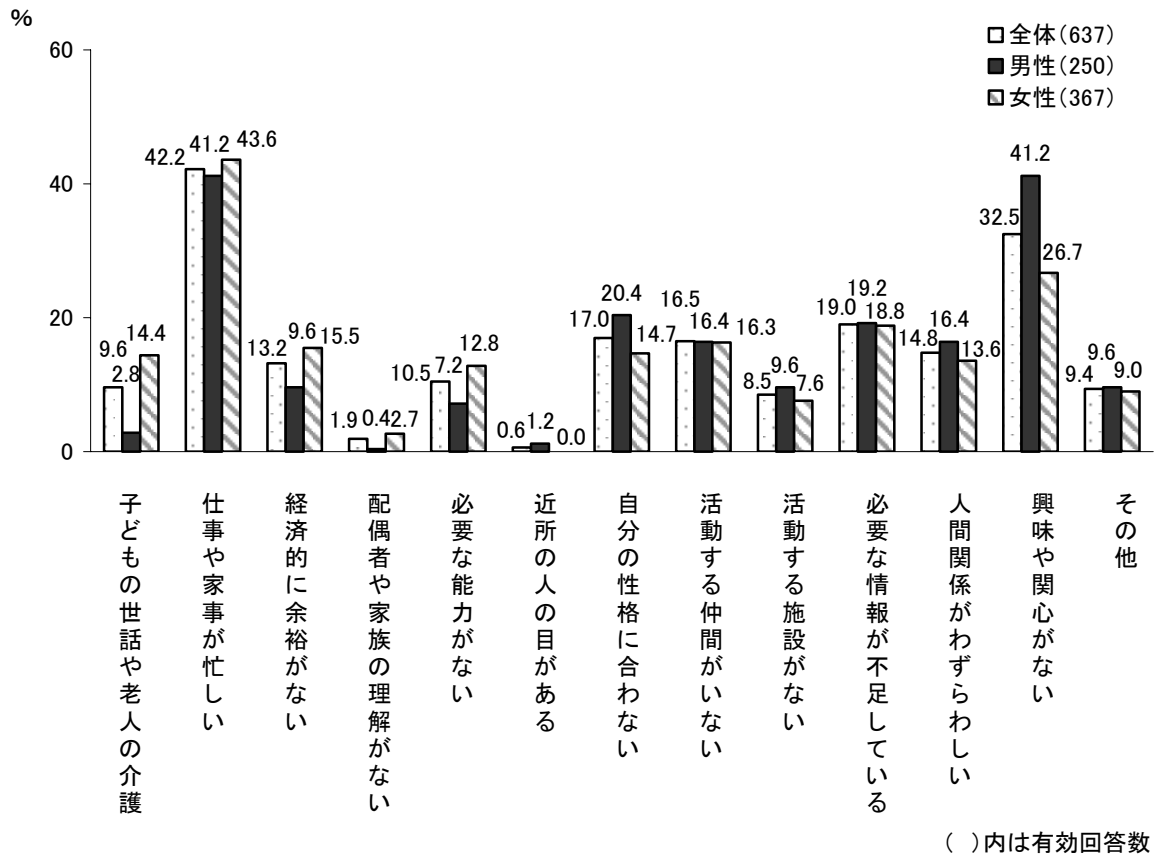
年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 30 歳代から 60 歳代で「仕事や家事が忙しい」の割合が高く、30 歳代で「責任ある立場に置かれることに抵抗がある」の割合が高く、20 歳代、30 歳代で「活動する仲間がいない」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 40 歳代、50 歳代で「仕事や家事が忙しい」の割合が高く、60 歳代で「責任ある立場に置かれることに抵抗がある」、「自分の性格に合わない」、「必要な情報が不足している」の割合が高くなっています。

平成 13 年度調査結果と比較すると、全体では、「仕事や家事が忙しい」、「自分の性格に合わない」、「活動する仲間がいない」、「活動する施設がない」、「必要な情報が不足している」、「特に理由はない」の割合が低くなっています。男女別では、女性で「子どもの世話や老人の介護」の割合が低く、男性で「特に理由はない」の割合が高くなっています。

図表 85 男女別地域活動に参加しない理由（平成 20 年度調査）



図表 86 男女別地域活動に参加しない理由（平成 13 年度調査）



問 23 あなたは、今後、どのような地域活動をしたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「文化活動（趣味・教養）」の割合が最も高く 29.2%となっており、次いで「活動したいと思わない」の割合が 26.9%、「ボランティアなどの社会奉仕活動」の割合が 26.9%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「文化活動（趣味・教養）」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「自治会、町内会」、「スポーツ・レクリエーション活動」の割合が高くなっています。

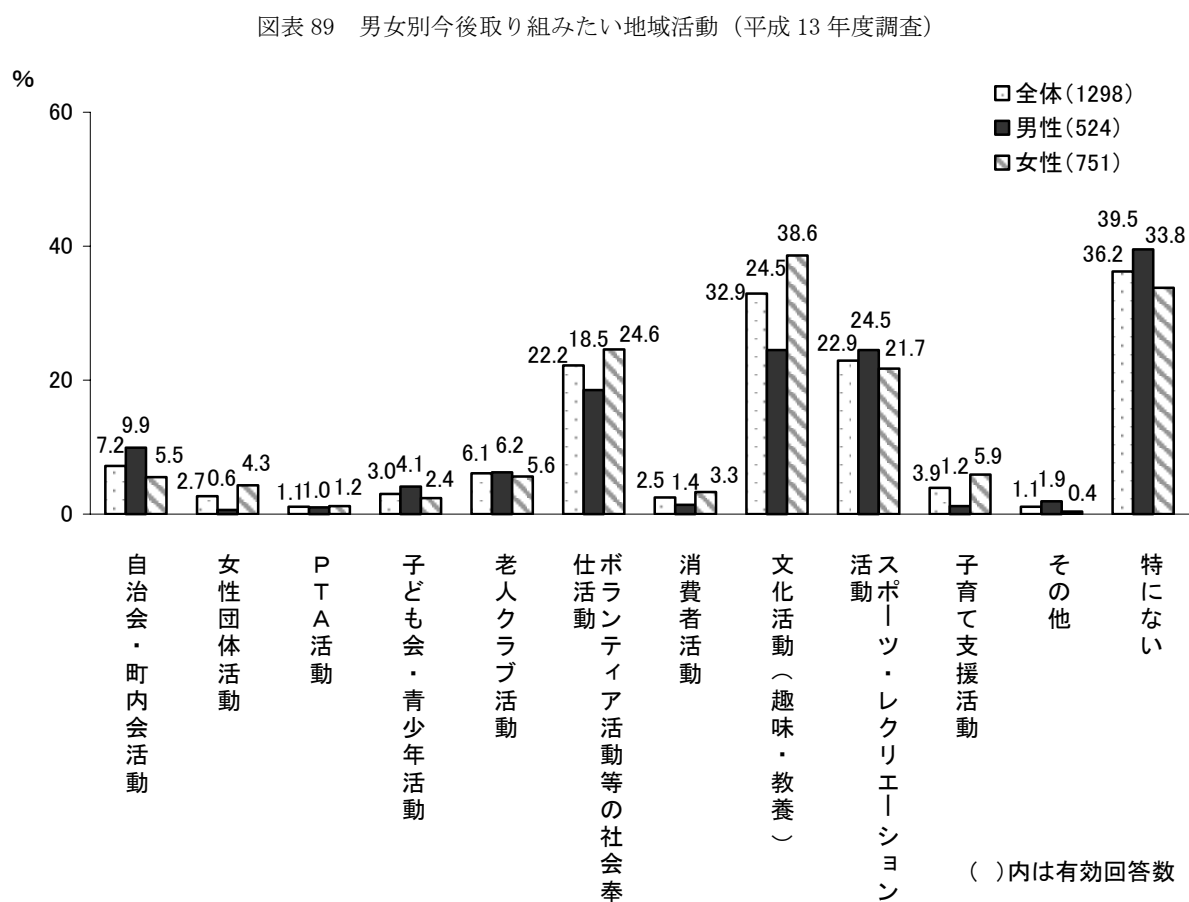
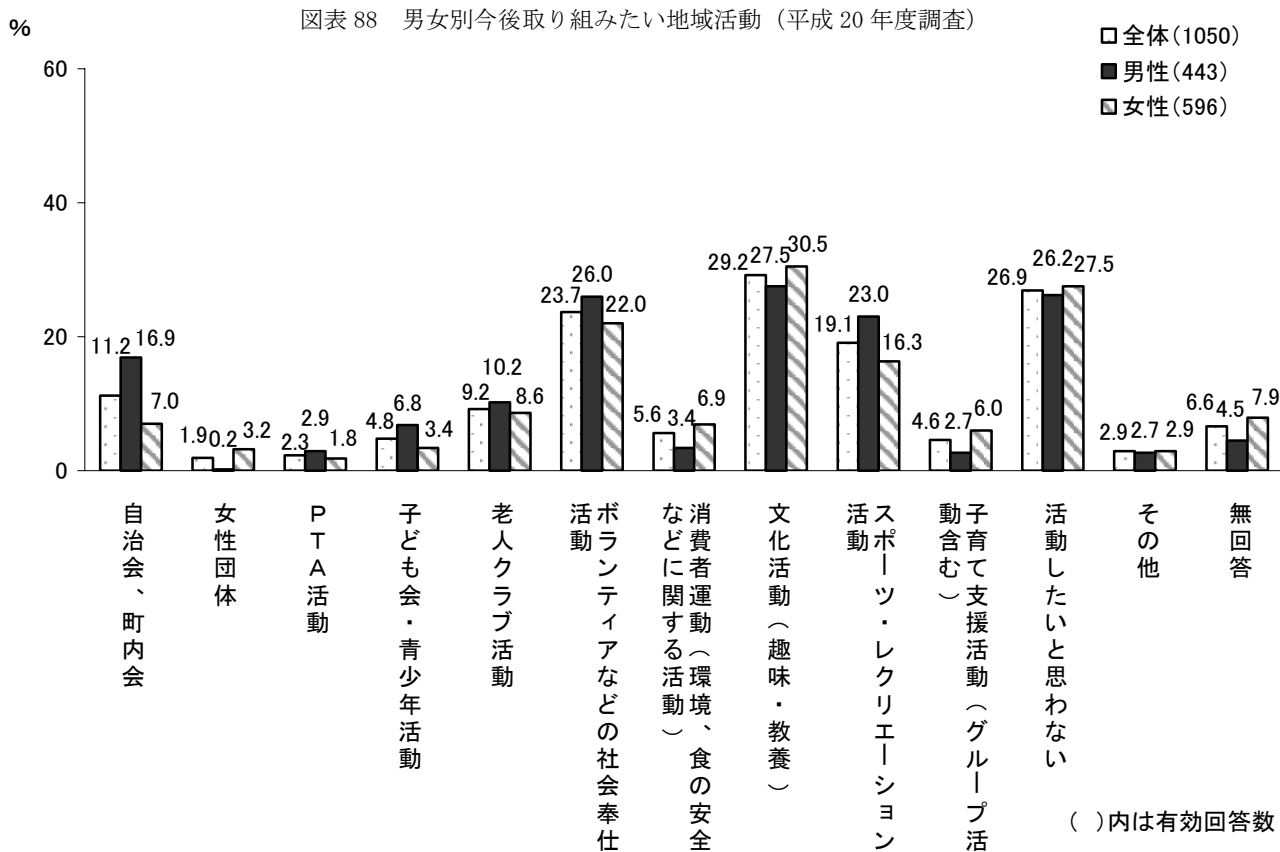
平成 13 年度調査結果と比較すると、全体では、大きな差異はみられません。男女別では、女性で「スポーツ・レクリエーション活動」の割合が低く、男性で「自治会、町内会」、「ボランティアなどの社会奉仕活動」の割合が高くなっています。

図表 87 男女別今後取り組みたい地域活動

単位：％

	有効回答数(件)	自治会、町内会	女性団体	PTA活動	子ども会・青少年活動	老人クラブ活動	ボランティアなどの社会奉仕活動
全 体	1050	11.2	1.9	2.3	4.8	9.2	23.7
男性	443	16.9	0.2	2.9	6.8	10.2	26.0
女性	596	7.0	3.2	1.8	3.4	8.6	22.0

	消費者運動(環境、食の安全などに関する活動)	文化活動(趣味・教養)	スポーツ・レクリエーション活動	子育て支援活動(グループ活動含む)	活動したいと思わない	その他	無回答
全 体	5.6	29.2	19.1	4.6	26.9	2.9	6.6
男性	3.4	27.5	23.0	2.7	26.2	2.7	4.5
女性	6.9	30.5	16.3	6.0	27.5	2.9	7.9



(7) 高齢化社会や介護について

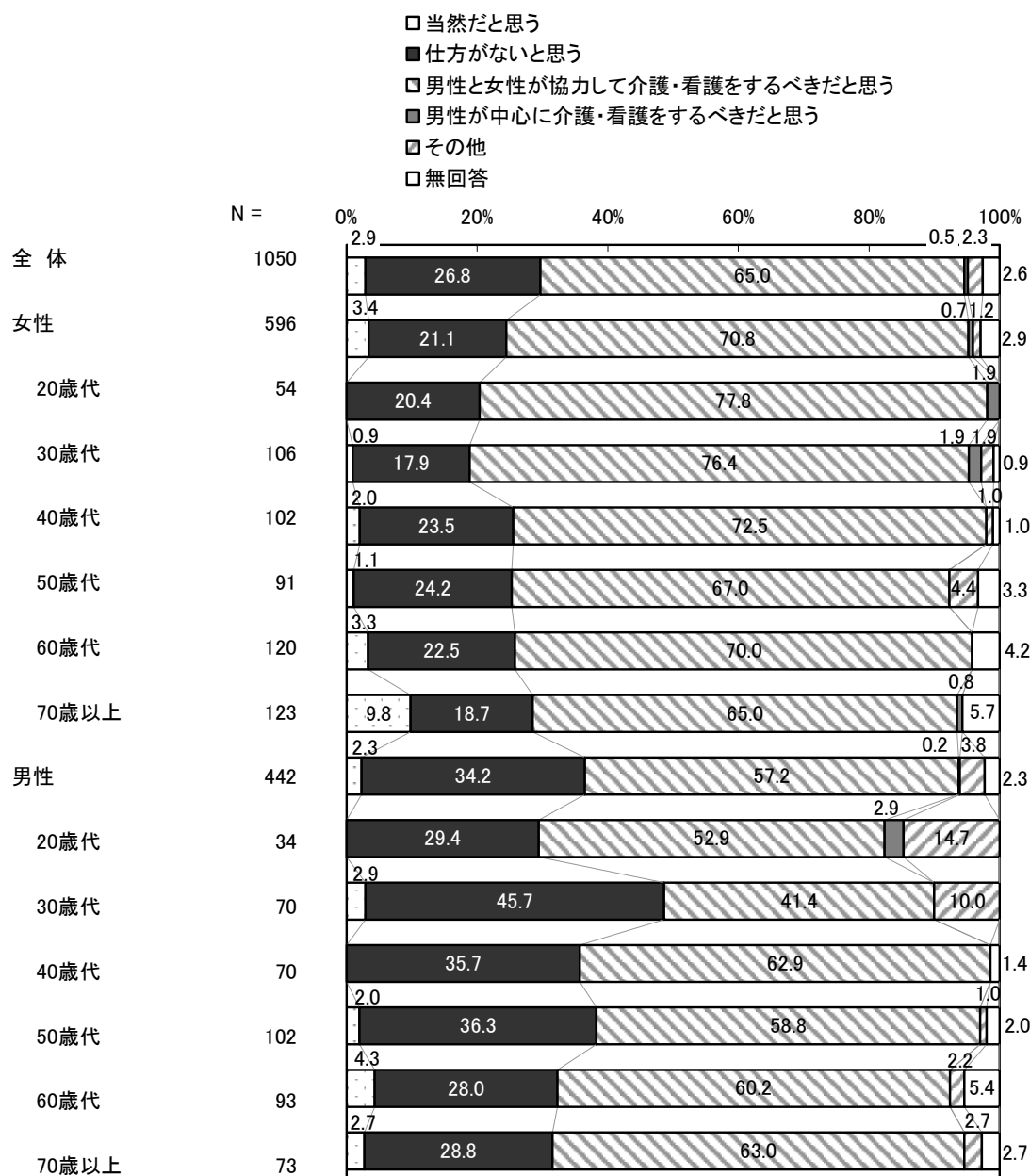
問 24 現在、家庭での高齢者の介護や病人の看護は、多くの場合女性がしていると言われています。あなたはこのことについて、どう思いますか。(○は1つ)

「男性と女性が協力して介護・看護をするべきだと思う」の割合が最も高く 65.0%となっており、次いで「仕方がないと思う」の割合が 26.8%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「男性と女性が協力して介護・看護をするべきだと思う」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「仕方がないと思う」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 40 歳代以下で「男性と女性が協力して介護・看護をするべきだと思う」の割合が高くなっています。また、年齢別でみると、他の年代に比べ、男性の 30 歳代で「仕方がないと思う」の割合が高くなっています。

図表 90 男女別年齢別介護の女性負担への考え方



問 25 あなたは、ご自分の老後を考えたとき、何か心配事や不安がありますか。主なものを教えてください。（〇は1つ）

「自分自身の健康のこと」の割合が最も高く 31.7%となっており、次いで「生活費のこと」の割合が 25.2%となっています。

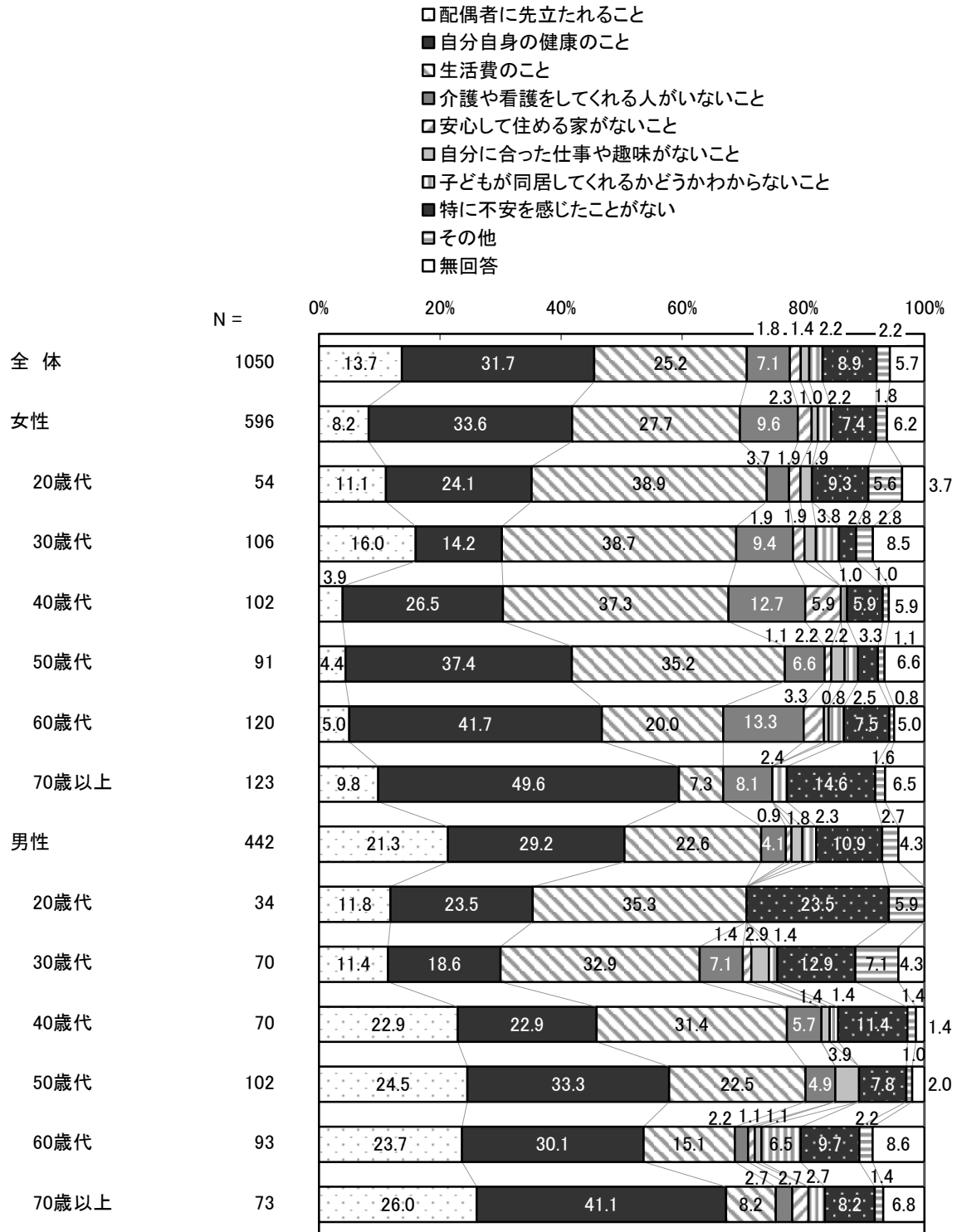
男女別でみると、男性に比べ女性で「生活費のこと」、「介護や看護をしてくれる人がいないこと」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「配偶者に先立たれること」の割合が高くなっており、老後の介護や身の周りの世話について、女性への依存がうかがえます。

年齢別でみると、女性では 40 歳代以上で年齢が高くなるにつれ「自分自身の健康のこと」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 40 歳代以上で「配偶者の先立たれること」の割合が高く、70 歳代で「自分自身の健康のこと」の割合が高くなっています。男性の 30 歳代以上で年齢が高くなるにつれ「生活費のこと」の割合が低くなっています。

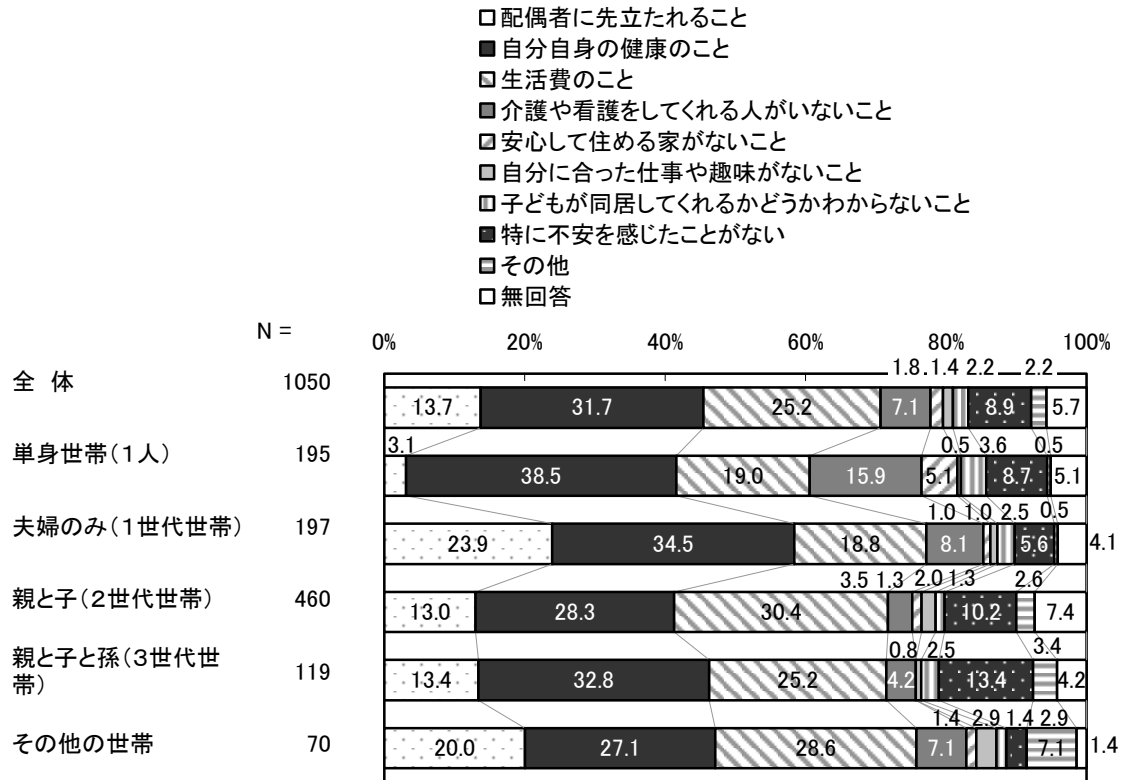
家族構成別でみると、他の家族構成に比べ親と子（2 世代世帯）、親と子と孫（3 世代世帯）、その他の世帯で「生活費のこと」の割合が高くなっています。

平成 13 年度調査結果と比較すると、全体では、「配偶者に先立たれること」の割合が低くなっています。男女別では、女性で「配偶者に先立たれること」の割合が低く、「生活費のこと」の割合が高くなっています。

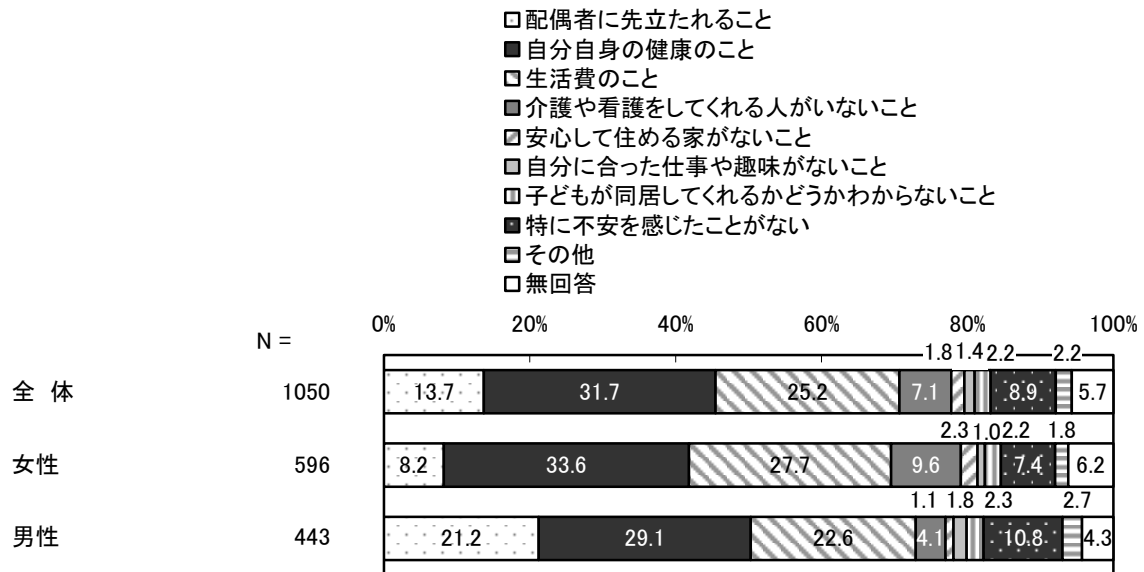
図表 91 男女別年齢別老後の不安



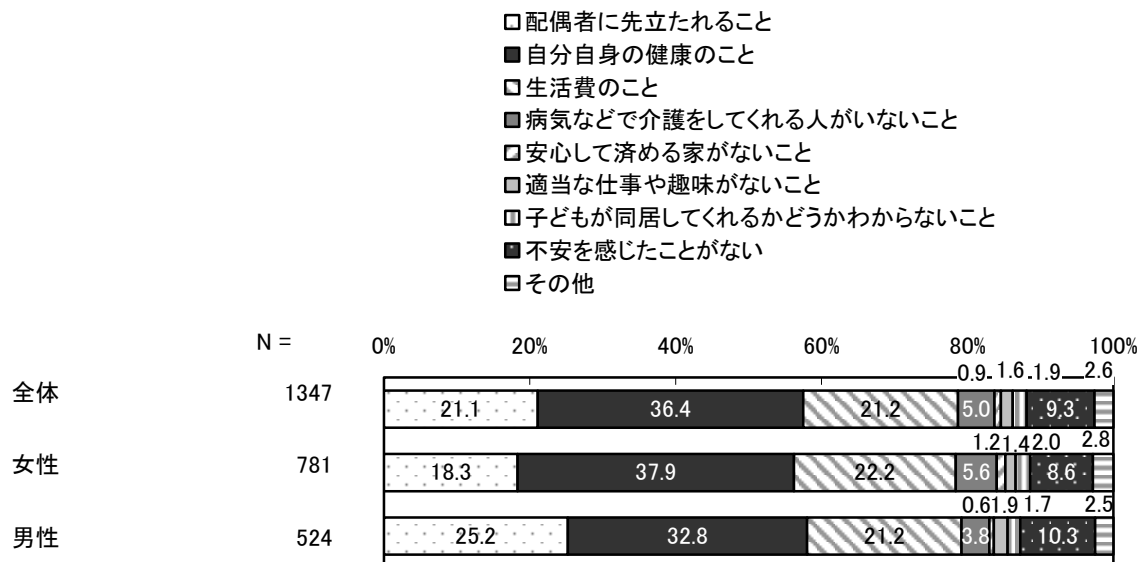
図表 92 家族構成別年齢別老後の不安



図表 93 男女別老後の不安（平成 20 年度調査）



図表 94 男女別老後の不安（平成 13 年度調査）



問 26 あなたご自身に、介護が必要となったときは身の回りの世話を、どのようにしたいと思いますか。(〇は1つ)

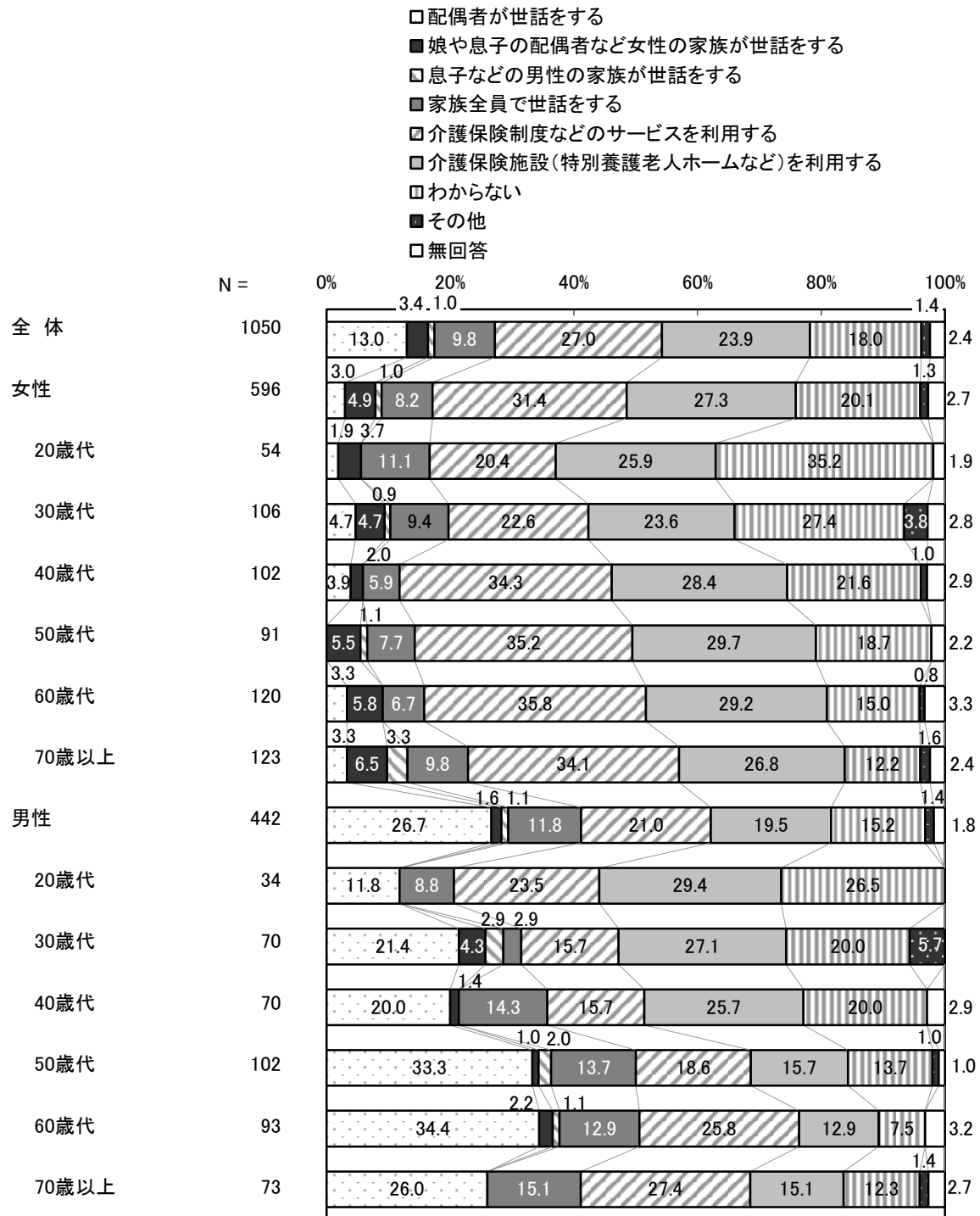
「介護保険制度などのサービスを利用する」の割合が最も高く 27.0%となっており、次いで「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）を利用する」の割合が 23.9%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「介護保険制度などのサービスを利用する」、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）を利用する」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「配偶者が世話をする」の割合が高くなっています。

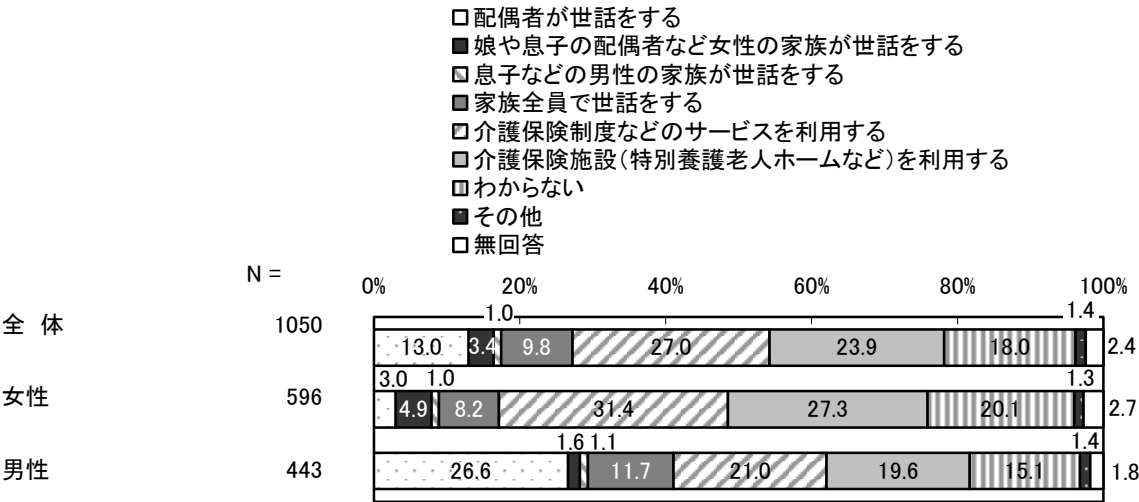
年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 40 歳代以上で「介護保険制度などのサービスを利用する」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 50 歳代、60 歳代で「配偶者が世話をする」の割合が高く、60 歳代、70 歳代以上で「介護保険制度などのサービスを利用する」の割合が高く、50 歳代以上で「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）を利用する」の割合が低くなっています。

平成 13 年度調査結果と比較すると、全体では、「家族全員で世話をする」、「介護保険制度などのサービスを利用する」の割合が低く、「介護保険施設を利用する」の割合が高くなっています。男女別では、女性で「家族全員で世話をする」、「介護保険制度などのサービスを利用する」の割合が低く、「介護保険施設を利用する」の割合が高く、男性で「配偶者が世話をする」の割合が高く、「家族全員で世話をする」の割合が低くなっています。

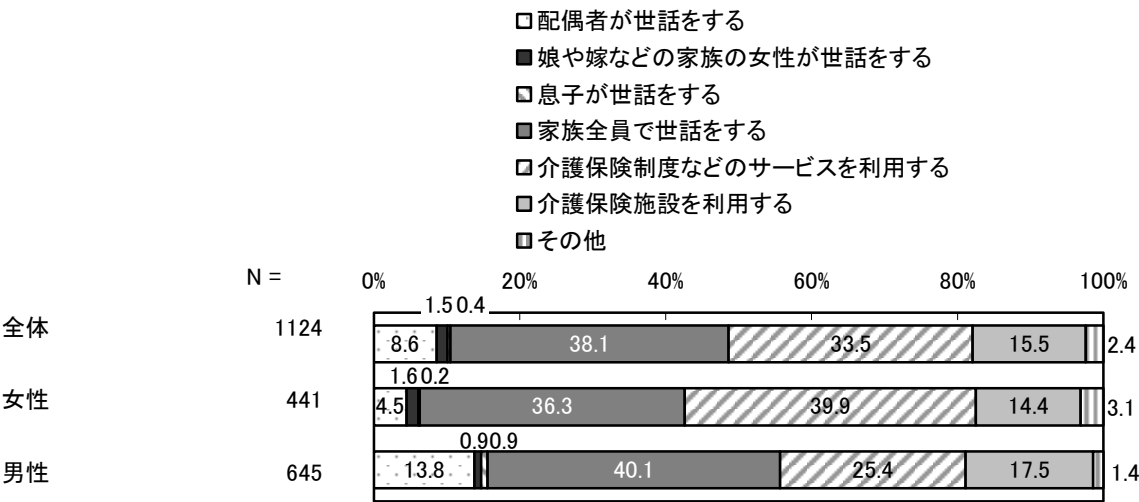
図表 95 男女別年齢別将来の暮らしの要望



図表 96 男女別将来の暮らしの要望（平成 20 年度調査）



図表 97 男女別将来の暮らしの要望（平成 13 年度調査）



(8) DV（ドメスティック・バイオレンス）について

問 27 あなたは、人権が侵害されるもしくは尊重されていないと感じるのはどのような場合だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「夫婦間・恋人同士の身体的・精神的な暴力」の割合が最も高く 51.2%となっており、次いで「ストーカー（つきまとい行為）や痴漢行為」の割合が 47.2%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「社会通念上、女性は男性の後に従うべきとされていること」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「ストーカー（つきまとい行為）や痴漢行為」の割合が高くなっています。

図表 98 男女別人権侵害と感ずること

単位：％

	有効回答数(件)	売春・買春行為	夫婦間・恋人同士の身体的・精神的な暴力	職場・学校でのセクハラ(性的いやがらせ)	容ぼう・容姿を競うミスコンテスト	ストーカー(つきまとい行為)や痴漢行為	社会通念上、女性は男性の後に従うべきとされていること	民法上の制度(夫婦同姓・再婚禁止期間・子どもの認知)	税制上の配偶者控除制度や、世帯単位の課税非課税の考えかた	特になし	その他	無回答
全 体	1050	30.4	51.2	42.5	7.6	47.2	24.5	18.6	14.4	13.4	1.1	6.3
女性	596	33.1	53.9	44.3	8.1	43.3	28.7	21.5	16.3	12.8	0.8	7.4
男性	443	26.6	47.6	40.2	6.8	52.6	18.5	14.4	11.3	14.2	1.6	4.7

問 28 DV（ドメスティック・バイオレンス）について、教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

「テレビや新聞で社会問題になっていることを知っている」の割合が最も高く 73.8%となっており、次いで「DVが人権侵害であることを知っている」の割合が 47.0%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「何らかの暴力を受けたことがある」と「身近な人から相談を受けたことがある」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「テレビや新聞で社会問題になっていることを知っている」と「何らかの暴力をしたことがある」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 40 歳代以下で「テレビや新聞で社会問題になっていることを知っている」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 40 歳代以下で「テレビや新聞で社会問題になっていることを知っている」の割合が高くなっています。

図表 99 男女別DVに関すること

単位：％

	有効回答数(件)	何らかの暴力をしたことがある	何らかの暴力を受けたことがある	身近な人から相談を受けたことがある	テレビや新聞で社会問題になっていることを知っている	DVが人権侵害であることを知っている	その他	無回答
全 体	1050	4.2	11.1	9.3	73.8	47.0	1.5	9.0
女性	596	2.0	16.1	11.9	71.8	46.5	1.3	9.9
20歳代	54	3.7	16.7	13.0	79.6	48.1	3.7	1.9
30歳代	106	4.7	27.4	16.0	75.5	51.9	0.9	1.9
40歳代	102	1.0	15.7	15.7	76.5	48.0	1.0	2.9
50歳代	91	1.1	15.4	11.0	69.2	45.1	－	9.9
60歳代	120	2.5	17.5	7.5	71.7	52.5	1.7	14.2
70歳以上	123	－	5.7	9.8	63.4	35.0	1.6	22.0
男性	442	7.0	4.5	5.9	76.9	47.7	1.8	7.2
20歳代	34	8.8	2.9	5.9	88.2	55.9	－	－
30歳代	70	4.3	2.9	1.4	85.7	34.3	1.4	1.4
40歳代	70	7.1	4.3	4.3	81.4	54.3	1.4	1.4
50歳代	102	9.8	3.9	4.9	76.5	52.9	1.0	6.9
60歳代	93	4.3	2.2	8.6	73.1	48.4	2.2	10.8
70歳以上	73	8.2	11.0	9.6	64.4	42.5	4.1	17.8

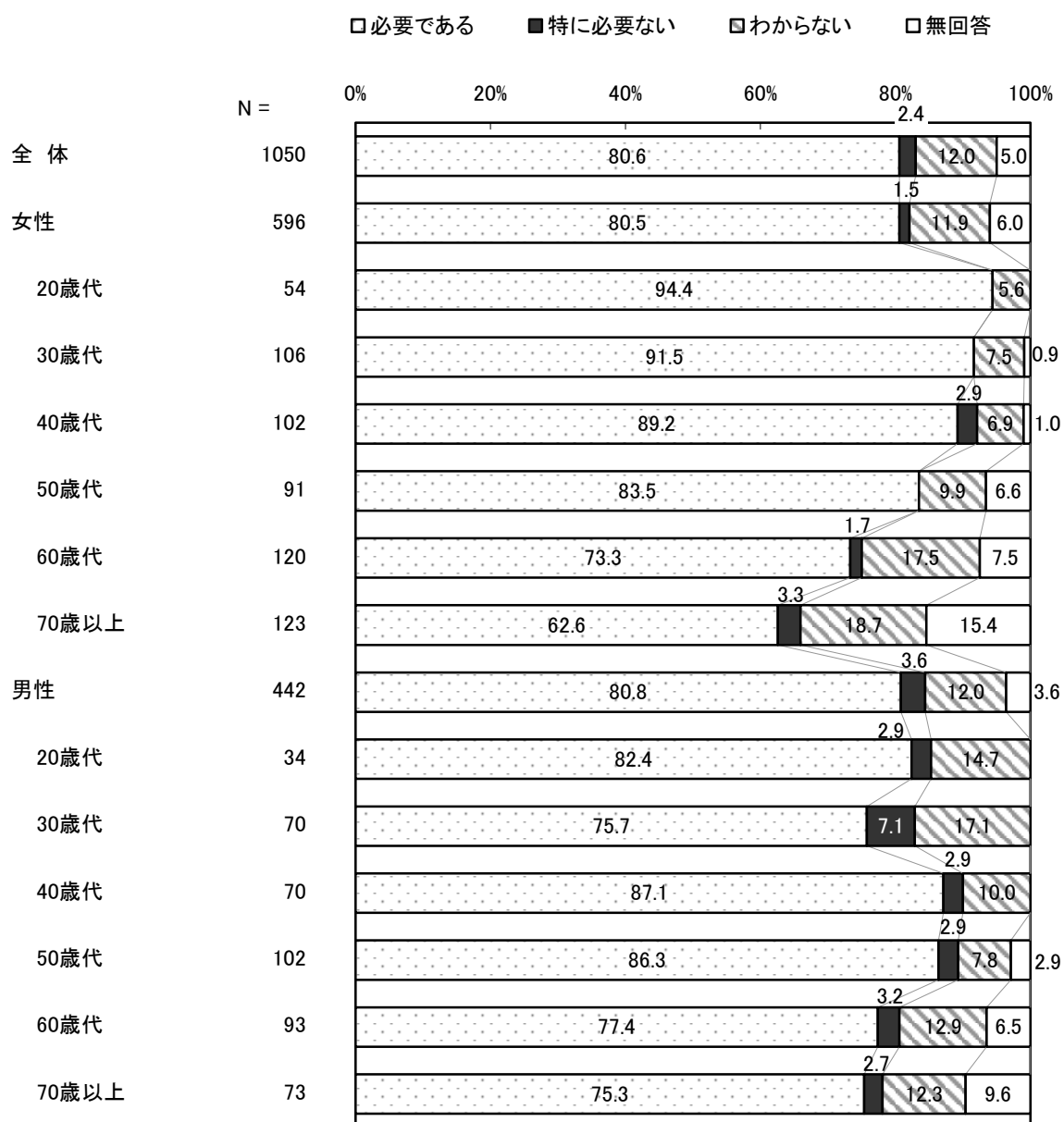
問 29 あなたは、DV被害を受けた人に対する公的な相談や援助体制が必要だと思いますか。(○は1つ)

「必要である」の割合が最も高く 80.6%となっており、次いで「わからない」の割合が 12.0%となっています。

男女別でみると、性別による大きな差異はみられません。

年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 40 歳代以下で「必要である」の割合が高くなっています。

図表 100 男女別年齢別DV被害への援助体制の必要性



問 29 で「1. 必要である」と答えた方

問 30 あなたは、どのような相談や支援が必要だと思いますか。(○は2つまで)

「被害から逃れた方が自立して生活できるような、経済的支援、就業支援等」の割合が最も高く 34.2%となっており、次いで「被害から逃れるための緊急一時保護施設（シェルター）などの設置」の割合が 33.7%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「家庭の中のことでも気兼ねなくうちあけて相談できる窓口」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「被害者・加害者の相談にいつでも電話で対応できる相談窓口」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 30 歳代で「被害から逃れるための緊急一時保護施設（シェルター）などの設置」の割合が高く、50 歳代で「被害から逃れた方が自立して生活できるような、経済的支援、就業支援等」の割合が高く、60 歳代以上で「家庭の中のことでも気兼ねなくうちあけて相談できる窓口」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 50 歳代で「被害から逃れるための緊急一時保護施設（シェルター）などの設置」の割合が高く、20 歳代で「被害から逃れた方が自立して生活できるような、経済的支援、就業支援等」の割合が高くなっています。

図表 101 男女別DV被害への必要な支援内容

単位：％

	有効回答数(件)	家庭の中のことでも 気兼ねなくうちあけ て相談できる窓口	被害者・加害者の相 談にいつでも電話で 対応できる相談窓 口	専門家同士の連携・ 地域ネットワーク	被害から逃れるた めの緊急一時保護 施設(シェルター)な どの設置	法的な手続き(被害 届けや保護命令等) について詳しく教え てくれる窓口	身近な交番での適切 な対応
全 体	846	30.4	26.5	8.9	33.7	21.9	10.6
女性	480	32.3	24.2	9.0	32.9	20.8	9.0
20歳代	51	27.5	27.5	3.9	37.3	25.5	7.8
30歳代	97	22.7	23.7	7.2	48.5	18.6	5.2
40歳代	91	29.7	26.4	12.1	33.0	26.4	14.3
50歳代	76	25.0	22.4	9.2	30.3	26.3	6.6
60歳代	88	40.9	22.7	9.1	26.1	14.8	9.1
70歳以上	77	48.1	23.4	10.4	20.8	15.6	10.4
男性	357	27.7	30.3	9.0	35.0	23.5	12.9
20歳代	28	28.6	10.7	14.3	25.0	25.0	17.9
30歳代	53	26.4	32.1	13.2	32.1	30.2	15.1
40歳代	61	21.3	34.4	3.3	39.3	26.2	16.4
50歳代	88	26.1	31.8	13.6	47.7	13.6	13.6
60歳代	72	34.7	26.4	6.9	30.6	29.2	6.9
70歳以上	55	29.1	36.4	3.6	23.6	21.8	10.9

	DVに対する市民へ の啓発	被害から逃れた方 が自立して生活でき るような、経済的支 援、就業支援等	加害者に対するカウ ンセリングやサポー ト	特にな い	そ の 他	無回 答
全 体	3.3	34.2	10.5	0.5	1.1	3.9
女性	3.1	37.5	12.1	0.6	1.0	4.0
20歳代	3.9	37.3	17.6	－	－	3.9
30歳代	2.1	47.4	9.3	－	3.1	5.2
40歳代	2.2	29.7	11.0	－	－	4.4
50歳代	2.6	51.3	10.5	1.3	1.3	－
60歳代	2.3	33.0	14.8	1.1	－	5.7
70歳以上	6.5	26.0	11.7	1.3	1.3	3.9
男性	3.6	29.7	7.8	0.3	1.1	3.4
20歳代	3.6	39.3	7.1	－	3.6	7.1
30歳代	3.8	32.1	3.8	－	1.9	1.9
40歳代	3.3	36.1	8.2	－	－	4.9
50歳代	1.1	26.1	10.2	－	1.1	1.1
60歳代	5.6	29.2	2.8	1.4	－	5.6
70歳以上	5.5	21.8	14.5	－	1.8	1.8

(9) 男女共同参画社会の推進について

問 31 今後、男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」の割合が最も高く 49.3%となっており、次いで「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりをあらためる」の割合が 43.0%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりをあらためる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「仕事中心という社会全体のしきみをあらためる」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 30 歳代以下で「仕事中心という社会全体のしきみをあらためる」、「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること」、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 30 歳代以下で「仕事中心という社会全体のしきみをあらためる」の割合が高く、40 歳代で「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」の割合が高くなっています。

図表 102 男女別年齢別男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと

単位：%

	有効回答数(件)	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりをあらためる	仕事中心という社会全体のしきみをあらためる	社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと	研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	誰もが子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめること	誰かが子育てや介護、地域活動を行うための、相談しやすい窓口を設けること	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
全 体	1050	43.0	35.9	37.0	36.7	25.2	11.9	19.3	14.4	49.3
女性	596	45.5	31.7	39.4	34.2	27.2	11.2	18.6	14.4	50.8
20歳代	54	51.9	55.6	48.1	51.9	29.6	11.1	18.5	14.8	72.2
30歳代	106	46.2	39.6	50.0	44.3	28.3	9.4	15.1	11.3	55.7
40歳代	102	48.0	34.3	37.3	33.3	31.4	7.8	15.7	12.7	46.1
50歳代	91	42.9	20.9	40.7	38.5	22.0	12.1	15.4	11.0	42.9
60歳代	120	48.3	30.8	36.7	28.3	30.0	14.2	25.0	17.5	49.2
70歳以上	123	39.0	21.1	30.1	21.1	22.8	12.2	20.3	17.9	48.8
男性	442	39.4	41.2	33.7	39.4	21.9	12.7	19.7	13.6	47.5
20歳代	34	50.0	50.0	50.0	44.1	17.6	14.7	29.4	8.8	47.1
30歳代	70	34.3	54.3	32.9	50.0	15.7	12.9	15.7	5.7	48.6
40歳代	70	47.1	45.7	45.7	37.1	21.4	8.6	20.0	8.6	58.6
50歳代	102	33.3	41.2	35.3	41.2	21.6	12.7	20.6	13.7	41.2
60歳代	93	37.6	36.6	26.9	38.7	29.0	15.1	20.4	20.4	46.2
70歳以上	73	42.5	26.0	21.9	27.4	21.9	12.3	16.4	19.2	46.6

図表 103 男女別年齢別男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと

単位：％

	子どもが将来家事などを男女で分担するような子育てや教育をする	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	妻が夫に経済力や出世を求めない	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	女性が経済的・精神的に自立する	誰もが男女共同参画について関心をもつ	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	31.8	20.2	11.3	34.5	13.4	19.0	35.0	2.6	1.2	4.1
女性	36.4	22.3	11.6	39.4	15.3	22.7	34.6	2.2	1.2	4.9
20歳代	37.0	27.8	7.4	48.1	20.4	33.3	42.6	－	1.9	－
30歳代	38.7	24.5	10.4	46.2	18.9	20.8	22.6	0.9	2.8	1.9
40歳代	32.4	27.5	6.9	40.2	12.7	23.5	35.3	2.0	1.0	1.0
50歳代	46.2	15.4	8.8	40.7	9.9	24.2	26.4	1.1	－	4.4
60歳代	39.2	14.2	13.3	34.2	15.0	24.2	38.3	3.3	0.8	5.0
70歳以上	27.6	26.8	18.7	33.3	16.3	16.3	43.1	4.1	0.8	13.0
男性	25.3	16.7	10.4	27.6	10.4	13.6	34.8	3.2	1.4	2.9
20歳代	26.5	14.7	8.8	32.4	23.5	14.7	38.2	2.9	－	－
30歳代	17.1	14.3	11.4	20.0	5.7	7.1	24.3	4.3	4.3	－
40歳代	31.4	18.6	8.6	30.0	7.1	17.1	28.6	－	－	－
50歳代	23.5	15.7	6.9	31.4	8.8	16.7	30.4	3.9	1.0	2.9
60歳代	23.7	12.9	11.8	23.7	8.6	11.8	45.2	3.2	2.2	5.4
70歳以上	31.5	24.7	15.1	30.1	16.4	13.7	42.5	4.1	－	6.8

問 32 あなたは、男女平等社会の実現を図るため、今後の岡崎市に期待することは何ですか。（〇は3つまで）

「高齢者や病人の在宅介護サービスや施設または、福祉施策の充実」の割合が最も高く 46.2%となっており、次いで「育児・保育施設や支援事業の充実」の割合が 37.7%となっています。

男女別でみると、男性に比べ女性で「高齢者や病人の在宅介護サービスや施設または、福祉施策の充実」、「ひとり親家庭などへの援助や福祉対策」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「平等意識を育てる学校教育の充実」、「男女平等への理解を深めるための学習機会の促進（生涯学習）」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他の年代に比べ、女性の 30 歳代以下で「育児・保育施設や支援事業の充実」の割合が高く、40 歳代以上で「高齢者や病人の在宅介護サービスや施設または、福祉施策の充実」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、男性の 50 歳代以上で「男女平等への理解を深めるための学習機会の促進（生涯学習）」の割合が高く、30 歳代以下で「育児・保育施設や支援事業の充実」の割合が高く、40 歳代以上で「高齢者や病人の在宅介護サービスや施設または、福祉施策の充実」の割合が高くなっています。

図表 104 男女別年齢別男女平等社会の実現を図るために期待すること

単位：％

	有効回答数(件)	平等意識を育てる学校教育の充実	男女平等への理解を深めるための学習機会の促進(生涯学習)	女性問題に関する情報提供・交流・相談・苦情処理・研究などの充実	女性の職業教育・訓練機会の充実	女性の就労機会や労働条件の男女格差を是正するための働きかけ	育児・保育施設や支援事業の充実	行政や民間での女性の積極的な登用
全 体	1050	25.8	18.7	7.0	8.3	22.7	37.7	16.5
女性	596	22.7	15.4	6.5	9.2	24.7	38.6	15.9
20歳代	54	18.5	16.7	5.6	18.5	33.3	63.0	14.8
30歳代	106	20.8	15.1	10.4	9.4	27.4	48.1	16.0
40歳代	102	24.5	7.8	11.8	11.8	29.4	38.2	11.8
50歳代	91	25.3	18.7	4.4	9.9	27.5	40.7	18.7
60歳代	120	23.3	17.5	4.2	6.7	24.2	33.3	15.0
70歳以上	123	22.0	17.1	3.3	4.9	13.0	23.6	18.7
男性	442	29.9	22.6	7.5	7.2	20.4	36.4	17.6
20歳代	34	32.4	11.8	11.8	－	20.6	44.1	5.9
30歳代	70	24.3	15.7	4.3	8.6	25.7	47.1	11.4
40歳代	70	27.1	11.4	4.3	5.7	15.7	37.1	24.3
50歳代	102	33.3	26.5	13.7	8.8	21.6	32.4	17.6
60歳代	93	25.8	34.4	3.2	7.5	18.3	33.3	21.5
70歳以上	73	37.0	24.7	8.2	8.2	20.5	31.5	17.8

	行政の政策決定や審議会への女性の参画促進	高齢者や病人の在宅介護サービスや施設または、福祉施策の充実	女性問題に関する国際的な交流・情報収集の促進	市内の女性団体・グループとその活動内容の情報ネットワークづくり	ひとり親家庭などへの援助や福祉対策	わからない	その他	無回答
全 体	6.5	46.2	2.8	3.2	24.0	4.3	3.4	6.3
女性	4.9	48.7	2.7	2.2	28.9	4.4	1.7	6.9
20歳代	3.7	27.8	3.7	1.9	35.2	1.9	1.9	3.7
30歳代	1.9	37.7	5.7	1.9	34.9	3.8	1.9	3.8
40歳代	1.0	50.0	－	1.0	27.5	4.9	2.0	2.0
50歳代	3.3	48.4	2.2	－	25.3	6.6	3.3	5.5
60歳代	6.7	61.7	0.8	1.7	26.7	5.0	1.7	6.7
70歳以上	10.6	53.7	4.1	5.7	26.8	3.3	－	16.3
男性	8.6	43.4	2.9	4.5	17.6	4.3	5.4	5.0
20歳代	－	26.5	2.9	5.9	23.5	5.9	17.6	5.9
30歳代	5.7	34.3	1.4	7.1	14.3	5.7	11.4	1.4
40歳代	12.9	42.9	4.3	2.9	22.9	8.6	2.9	2.9
50歳代	7.8	47.1	3.9	2.9	18.6	2.9	5.9	2.9
60歳代	7.5	46.2	3.2	3.2	15.1	1.1	－	8.6
70歳以上	13.7	52.1	1.4	6.8	15.1	4.1	2.7	8.2